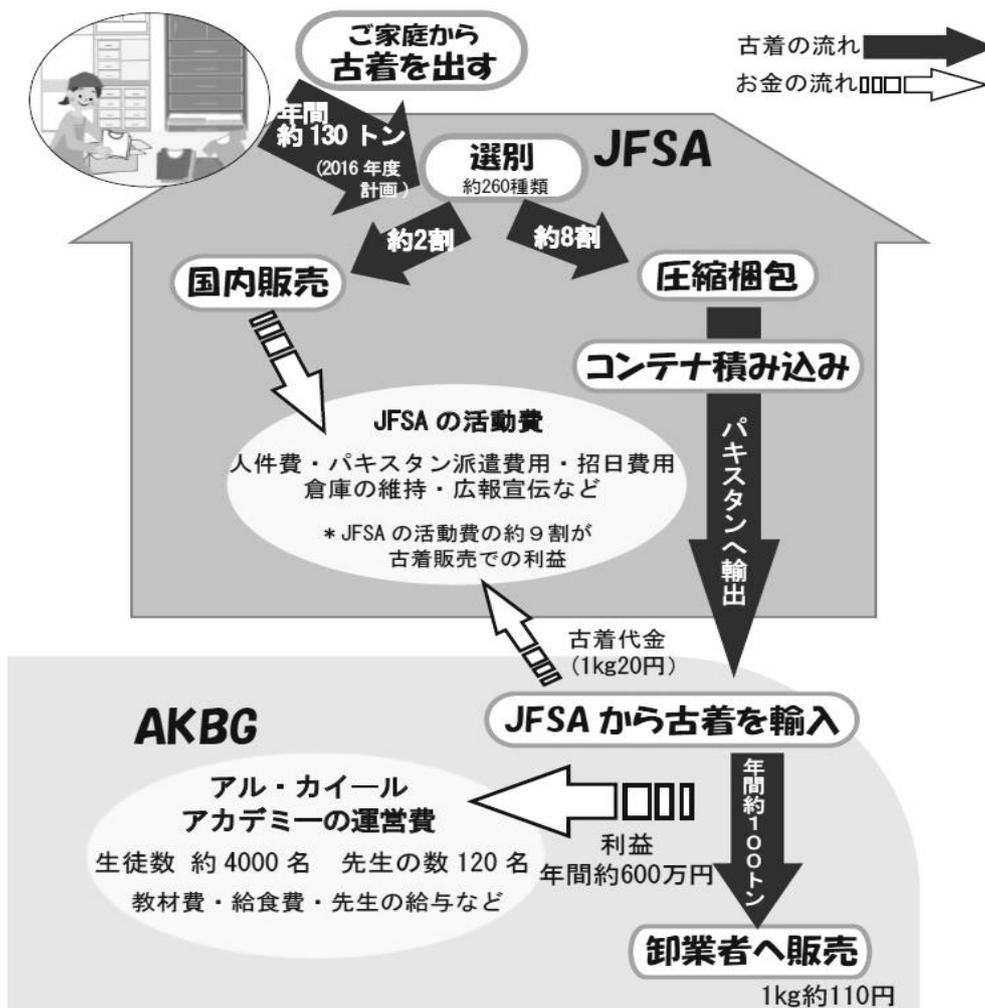


衣類を整理している皆さまへ

皆さまから寄せられた荷物の中や、お電話、メールで古着回収に関するご質問や、メッセージをいただくことがあります。その中で最も多いものは「ありがとうございます。これからも頑張ってください。」そして「少しですが、協力します。」というお言葉です。そのようなメッセージと、たたまれた衣類を見ると、この活動は出した方お一人お一人の気持ちで支えられていて、そのお気持ちと一緒にパキスタンの人々との連帯事業は進められるのだと改めて感じることができます。

皆さんの古着が、スラムの学校の運営を支えるまで…



届いた古着の仕分け
JFSA 千葉センターにて



国内販売
フリーマーケットにて



パキスタンに輸出した
古着の荷下ろし
カラチ港側の倉庫にて



授業中
アル・カイルアカデミーの分校にて

アル・カイルアカデミーとは・・・

パキスタン最大の都市カラチ市のスラムにある学校で、本校と分校が6校、専門学校が1校、山岳部に分校が1校あります。現在約4000人の子どもが通い、約200名の先生がいます。校長ムザヒル氏は、1987年に10人の子どもといっしょに学校を始めました。30年が経ち、現在38名の卒業生が先生として働いています。

子どもたちは、家計を支えるため、働きながら学んでいます。働きながらも学べるよう、授業は午前・午後の2部制です。また、夏休みのような長期休暇もありません。学校に行かない期間をつくると、子どもたちはその時間を働き、稼ぐようになります。そして休みの後、学校に通わなくなるからです。学校は子どもたちが勉強する機会をつくると同時に、一日のうちの数時間を友だちと遊んだりして過ごす場になっています。